

平成 19 年度第 1 回 陸上掘削部会・執行部会 議事録（案）

日時：2007 年 4 月 8 日(日) PM12:00～13:50

場所：東京大学海洋研究所 A 棟 1F 講義室

出席予定者(敬称略)

部会長：浦辺徹郎(東京大学大学院)

部会委員：井龍康文(東北大学) 小村健太郎(防災科学技術研究所) 角井朝昭(産業技術総合研究所)
中田節也(東京大学地震研究所) 宮石修(日鉱探開株式会社)

欠席者(敬称略)

部会委員：池田隆司(北海道大学) 木村克己(産業技術総合研究所) 佐藤比呂志(東京大学地震研究所)
徐 垣(海洋研究開発機構) 福井勝則(東京大学) 林歳彦(石油天然ガス・金属鉱物資源機構)
藤井直之(静岡大学) 山田隆二(防災科学技術研究所)

議事次第

1. 陸上部会幹事および執行委員の任期の変更について
2. 2006 年度活動報告, 2007 年度活動方針の承認について
3. 2006 年度決算, 2007 年度予算案の承認について
4. 第 2 回陸上掘削研究に関する情報交換会の実施について
5. 2008 年度に向けた新執行委員の選定方法について
6. その他
 - ・次回執行部会開催日程について

配布資料

資料 1 総会資料

資料 2 第 2 回情報交換会について

議事録

1. 陸上部会幹事および執行委員の任期の変更について

総会資料 9, 10 に基づき、標記について、浦辺部会長から説明がなされた。

→3年から2年へ任期を変更する規約改正について承認が得られた。また、現在の部会幹事および執行委員について2期目の2年目の任期にあることが了承された。

2. J-DESC 会長の交代について

上記議題の任期変更に至った要因の1つである標記について、浦辺部会長から委員に説明がなされた。

→斉藤靖二新会長を推薦することが承認された。

3. H18 年度陸上掘削部会活動報告について

資料 3 に基づき、浦辺部会長から補足説明しつつ、標記について確認がなされた。

- ・ サイエンスプラン増刷と概要をまとめたプランパンフレットについて
→引き続き、必要に応じて増刷していく。
- ・ 第1回陸上情報交換会について
→陸上掘削部会として昨年度初めての試みで催されたが、大変好評であり、多くの方々にとって有意義な情報交換の場であった。今後も継続して開催していきたい。
- ・ ” Continental Scientific Drilling- A decade of progress, and challenges for the future” (U .Harms et al. eds. (2007)について
→国際版陸上掘削サイエンスプランであり、日本からは約 20 名が参加した昨年度のポツダムシンポジウムの出版物。日本から 4 名が執筆に参加した。
- ・ ICDP ワークショップへの支援
→井龍氏（代表：東北大学／執行部会委員）の COREF ワークショップの支援
→鷲谷氏（代表：名古屋大学）のワークショップについては、今年度実施予定。
- ・ 国際協力：KIGAM の ICDP 加入準備
標記準備を行っている KIGAM の李博士が来日され、その対応について報告。
→KIGAM も近い将来、ICDP に加入できそうである。
- ・ 反省点
→マルチ・パーパスへの働きかけができなかった
→昨年 10 月時点では日本から ICDP のプロポーザルが提出されなかった
- ・ J-DESC の法人化
昨年度総会では色々な議論がなされ、”今すぐに法人化しなくても良いのでは”という結論に至った。
H18 年度も活動は続けているが、法律整備がなかなか進んでいない。
→J-DESC にとって、どの法人形式がよいのか模索中である。
→法人格をもつことで、J-DESC としての活動の幅が広がるのであれば、実現していきたい意向である。

4. H19 年度陸上掘削部会活動方針について

IODP も新部会長に交代されることから、新部会長と連絡を密にし、より活動を発展させていく。

- ・ 第2回陸上情報交換会について
→開催日は5月22日 PM17:00～20:00 に決定。
→講演について

現時点で13の講演予定。実際に講演依頼・準備を進める。

- ・ 陸上科学掘削ワークショップ
→鷺谷氏（代表：名古屋大学）のワークショップの共催・支援
- ・ 日本発 ICDP 掘削プロポーザル
→井龍氏（代表：東北大学／執行部会委員）の COREF 掘削
→鷺谷氏（代表：名古屋大学）の南海トラフ掘削
→伊藤氏（代表：千葉大学）の房総半島南端掘削
→中川氏（代表：ニューカッスル大学）の湖沼掘削
→産業技術総合研究所による都市地盤・地下水掘削 など有望なプロポーザル支援
- ・ サイエンスプランの広報
- ・ マルチ・パーパスへの働きかけ
- ・ IODP 部会と協力し、J-DESC 全体の基盤とプレゼンスの強化 を目指す。

5. 陸上掘削部会の H18 年度決算について

総会資料 4 に基づき、標記が確認された。→了承された。

6. H20 年度に向けた陸上掘削部会の体制作りに向けて

標記について、陸上掘削部会の事務局設置について、議論がなされた。

現状では産業技術総合研究所（以降、産総研）に事務局設置する案が提案された。

→これを受けて、産総研で議論がなされたことが角井委員から報告された。しかし、産総研としては、「事務局としてではなく、陸上掘削に関わる 1 機関として、中立的な立場で様々な場面からサポートしていくのが望ましい」という考えである。引き続き産総研内でも検討していきたい。

7. その他

- ・ 次回執行部会開催日程について

→第 2 回情報交換会の場にて、検討することとなった。